

設例Ⅳ

配置替及び会員期間通算願の異動時の仕訳

会員である職員が、同一法人内での配置替、あるいは他の法人（施設等）へ異動した時、共済会からの「配置替・期間通算に伴う資産移動通知書」により取り崩し及び資産の計上処理を行なってください。

例えば、職員がこの施設から甲施設へ異動したときの仕訳処理は、次のとおりです。

例) D氏（会員期間7か月：在籍〇年10月～〇年4月）は、5月1日付でこの施設から甲施設へ異動した。

なお、D氏の事業主掛金累計額は、4月分までの掛金（7か月分の掛金累計額）で32,550円であった。前年度末の3月分まで（6か月分）の退職給付引当金の残高は、27,900円であった。

- ① この施設においては、5月1日付で退職給付引当資産と退職給付引当金を取り崩します。その後、4月分の掛金送金時（5月）に掛金支払いの処理をします。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
A	退職給付引当金	① 32,550(注)	退職給付引当資産	② 32,550
B	退職給付引当資産	③ 4,650	現金預金	⑤ 9,300
C	預り金	④ 4,650		
D	人件費 -退職給付費用	⑥ 4,650	退職給付引当金	⑦ 4,650
E	積立資産支出 -退職給付引当資産支出	⑧ 4,650	支払資金	4,650

(注)前年度末残高 27,900円 + Dの仕訳で計上する金額 4,650円 = 32,550円

- ・ A、B、Cの仕訳は貸借対照表に反映
- ・ Dの仕訳は貸借対照表と事業活動計算書に反映
- ・ Eの仕訳は資金収支計算書に反映

～ 元 帳 ～

現金預金					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				退職給付引当資産	⑤ 4,650

	預り金	4,650
		9,300

退職給付引当資産

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	現金預金	③4,650		退職給付引当金	②32,550
		4,650			32,550

預り金

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	退職給付引当資産	④4,650			
		4,650			

退職給付引当金

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	退職給付引当資産	①32,550		退職給付費用	⑦4,650
		32,550			4,650

退職給付費用

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	退職給付引当金	⑥4,650			
		4,650			

退職給付引当資産支出
(資金収支計算書)

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	支払資金	⑧4,650			
		4,650			

- ② 異動職員を受け入れた側の甲施設においては、この施設のAの処理とは貸借が逆の処理になります。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
A	退職給付引当資産	① 32,550	退職給付引当金	② 32,550

- ・ Aの仕訳は貸借対照表に反映

～ 元 帳 ～

退職給付引当資産					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	退職給付引当金	①32,550			
		32,550			

退職給付引当金					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				退職給付引当資産	②32,550
					32,550